

## 大学入試英語成績提供システム参加試験の受験ニーズ調査について

**1. 昨年度の調査方法等（詳細は資料 2 - 2 参照）**

## (1) 調査対象

全国公立高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。）

## (2) 調査方法

文部科学省より、以下のとおり学校種別に調査票をEメールにて送付・回収。

- ・ 公立学校：各都道府県（政令指定都市については当該市）教育庁とりまとめ
- ・ 私立学校：各都道府県知事部局とりまとめ
- ・ 国立学校：学校別に直接回答

## (3) 調査項目

- Q 1. 現在の高校 1 年生が 3 年生になった際、大学入学者選抜に用いるため、どの試験をどの月に何名受験すると予測されるか。【必須回答】
- Q 2. 2020 年度時点の高校 1 年生・2 年生・3 年生について、大学入学者選抜に用いるための受験を除き、高校の授業や自己学習のために、どの試験をどの月に何名受験すると予測されるか。【任意回答】
- Q 3 - 1. 会場貸与の可否【必須回答】
- 2. 有償で貸与する場合、減免措置の検討の有無【任意回答】
- Q 4. 機器貸与の可否【任意回答】
- Q 5. 学校から最寄りの都道府県庁所在地までの片道移動時間【必須回答】
- Q 6. 学校から最寄りの都道府県庁所在地までの片道移動経費【必須回答】

## (4) 調査期間

平成 30 年 5 月 21 日～平成 30 年 9 月 14 日

**2. 今年度の実施に向けた提案**

- 高校現場には再度ご負担をおかけすることになるが、来年度からの英語資格・検定試験の実施に向けて、最新のニーズを把握し試験実施団体にフィードバックできるように、再度ニーズ調査を実施させていただけないか。

- 可能な限り、高校生や教職員の負担に配慮するため、質問項目を厳選してはどうか。

(質問例) 現在の高校2年生が、高校3年生になった際、大学入試英語成績提供システムの利用を前提とし、共通IDを記載して、どの参加試験をいつ受験する予定か。

→各試験の2020年度の実施予定日を選択肢として設定し、生徒一人につき最大2回分まで回答できるようにしてはどうか。

→昨年度よりも精緻な調査とするため、例えば英検については、「英検CBT」「英検2020 1 day S-CBT」「英検2020 2days S-interview」の3種類からどの級を受験する予定か、GTECについては、「GTEC Advanced」、「GTEC Basic」、「GTEC Core」、「GTEC CBT」のうちどれを受験する予定かを回答してもらうこととしてはどうか。

- 回答方法については、昨年度と同様、本調査のため学校内でアンケート等を行うことまで求めるものではなく、学校単位で集計してはどうか。(ただし、学校の判断で、生徒に対してアンケート等により聴取することを妨げるものではない。)

- 調査実施時期については、各試験実施団体における2020年度の実施スケジュールや実施地域が公表される予定の秋頃を開始時期とし、年内を目途に集計した上で、調査結果を実施団体へ提供するとともに集計全体版を公表することとしてはどうか。